

導入事例



分析機器

- NMR、電子顕微鏡、FT-IR、Ge分析器、比表面分析、熱分析などの寒剤用途



畜産

- 種雄牛精液の凍結保存等
- フィリピン農務省、国内和牛畜産農家や人工授精所



製薬

- 細胞、生体試料、バイオ医薬品関連素材などの凍結保存
- 大型凍結保存容器へのLN2自動供給実績あり



医療

- 不妊治療クリニックでの卵子、受精卵などの凍結保存
- 半自動供給による培養士の方々の負担軽減



その他

- 地球深部探査船「ちきゅう」、北極域研究船「みらいII」
- 南極昭和基地



累計1,500台以上の納入実績

導入事例 ≪ LN2自動供給システム ≫

LN2供給先装置側より 供給信号を入力する場合

- 自動供給先からの供給信号のON/OFFに応じてLN2供給/停止を行います。
- 信号種は問いません。



供給先容器側コントローラーから供給信号を出力

LN2供給先容器に 液面計を設置する場合

- 供給先容器に形状に合わせた、液面計を設置させていただきます。
- あらかじめ設定した液面高さに応じてLN2の供給/停止を行います。
- オプション品の自動供給コントローラーを用いていただく事で、液面を任意の高さで維持可能です。更にウィークリータイマー機能、強制供給機能もご使用いただけます。



- ※ LN2供給配管は全長10mまでとします。
- ※ LN2供給先容器情報をご開示ください。供給先容器の形状やサイズによっては対応不可な場合も御座います。
- ※ 供給配管のラッキング等はお請けしておりません。

導入事例 ≪ LN2半自動供給システム ≫

台秤を用いた半自動供給システムです。
あらかじめ設定した容器を含む総重量に応じてLN2供給を停止させます。
5種類までの容器を登録することが可能です。
※液取り出し時はスイッチ操作が必要です。



導入事例 ≪ LN2半自動供給システム ≫

【概要】

供給開始(スイッチ押下)、供給停止(自動停止)の半自動供給システムとなります。

容器の種類ごとに事前に登録した重量で液体窒素の供給を自動停止することが可能。

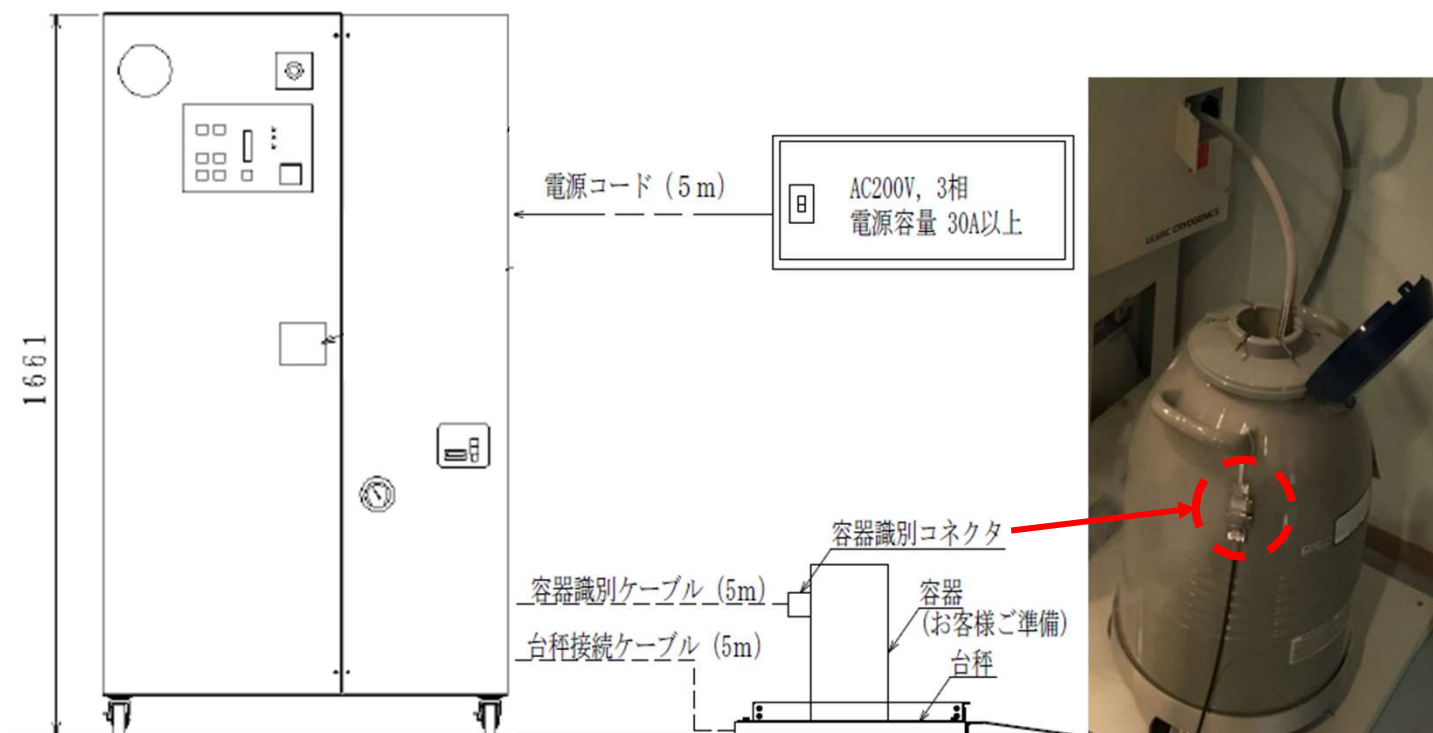
容器は5種類まで登録可能。
種類ごとに供給停止する重量を液体窒素ジェネレーター本体に登録し、容器識別コネクタの接続により判定を行う。


【LN2供給方法】

1. AUTO READYスイッチを押下する。
2. 対象容器を台秤に載せる。
3. 容器識別コネクタと容器識別ケーブルを接続
4. 手動取り出し用フレキホースをジェネレーター前面にある取り出し口に接続し先端を容器に差し込む。
5. AUTO SUPPLYを3秒間押下すると半自動供給開始となる。

【供給停止方法】

- ・規定重量に達する。
- ・供給中にAUTO SUPPLYを再度押下する
- ・容器識別コネクタを取り外す。



※ 部は、お客様御準備ユーティリティです。

導入事例 ≪ LN2半自動供給システム ≫

